ＪＡＲＬ
香川クラブ報

Ｎｏ．４０８　平成２８年８月１５日

フィールドミーティング（７月３０日）

ＪＡ５ＹＤＥ

ＪＡＲＬ第５回定時社員総会

JH5LYW　三好伸幸

6 月 26 日(日)「ＪＡＲＬ第 5 回定時社員総会」が、東京西新宿にある“ベルサール西新宿“において開催され､JARL 香川県支部長 JA5ARW 森國氏と共に参加してきました。すでに、JARLweb などを通じてご承知のこととは思いますが報告します。

今年は例年より 2 週間ほど遅く開催され、農繁期を外してくれて私としては大いに助かりました。

さて、社員総会は 13 時に始まりましたが、総会に先立ち今年の取組でありました「会員増強」に一定の成果のあった支部に対して表彰がありました。

総会は、ＪＡＲＬ会長 JA7AIW 山之内氏のあいさつがあり、「引き続きＪＡＲＬの会員増強に努力する旨等」の決意が述べられ、その後議長団が選出されました。

議長､副議長それぞれのあいさつの後、総会成立審査があり、社員総数 127 名中､開会時に 116 名の社員が出席、委任状 1 名、議決権行使書での参加が 4 名の 121 名でした。

社員総数の過半数（64 名以上）に満ちているので総会の成立宣言があり､引き続き書記および議事録署名人が選任され議事に入りました。

第 1 号議案「平成 27 年度決算」について説明があり、赤字解消にむけ経費節減に取り組んでいることが説明されました。

その後、事前に提出されている質問状に基づき事務局から答弁があり、それに対する討議が熱心になされました。

的を得た質問もあれば、頭を捻るような質問もありましたが、今年の注目点は JARL が抱えている不動産の処理に目途が付きそうな回答でした。まだ決定していないので詳細については説明されませんでした。

また、各地のハムフェアに対して JARL から一部助成金が出ているのですが、関西ハムフェア主催者の一部の人が「意見も聞かず勝手に“会員増強キャンペーン”を名目にしており本来の”KANHAM”の趣旨とは違うからなんでや。そんな勝手な名目の助成金なんか受け取れるか」と、かなり執拗に執行部を批判する一幕がありました。九州や東海など他のハムフェアも今年はそれが盛り込まれていることに対しては了解されており、趣旨に異論もないということで例年通り助成されています。

名目はどうであれ、目指すところは一緒なのだからもっと大人対応が何でできないのだろうかと疑問に感じました。
また、「新スプリアス」についてもかなりの時間を費やしましたが、包括免許の件なども含めてアマチュア局だけ特例は認められないとの見解が出されているようです。
ＪＡＲＬ内の内輪もめと会員減少による弱体化により総務省への働き掛けも弱くなり、一昔前に比べて後退を余儀なくされそうな感じを受けました。
同じ人間が長期間携わるのも弊害はありますが、会長が短期間で変わるのでは組織としてはデメリットの方が大きいのではないかと危惧しています。
第 1 号議案は 14 時 52 分に挙手により、賛成多数で可決されました。

第 2 号議案は「役員選任」について討議されました。
今回は理事の改選の年に当たり、先般選挙で選ばれた役員について個人個人について審議されましたが、今回は特にトラブルもなく理事 17 名と監事 2 名がそれぞれ挙手により採決され、全員が賛成多数で承認されました。

第 3 号議案は「定款の変更」について、名誉会長の職を追加したいとの提案が執行部よりありました。

賛否とも該当者の直接個人名を名指しして意見を述べる方はいませんでしたが、いろいろな考え方、言い方があるなと感心しました。
定款の改正には出席社員の２／３以上の承認が必要ですが、挙手による採決の結果定款変更に賛成はわずか 58 名で過半数にも達せず廃案となりました。
いろいろ功労はあるにせよ、”名誉会員”の称号があるのに、今更”名誉会長”の職は必要無しとの結論に至りました。
その後、予め提出されていた社員からの準備書面について、執行部から説明がありましたが、今年はその準備書面がいつもに比べて 5 倍ほどに膨れ上がっており、一通りの説明だけで 1 時間半以上も費やすことになり、質問状を出している人にとっては説明不足を感じただろうし、それ以外の人にとっては「もういいや」って状態で、質問者に野次を飛ばす不心得者もいました。
人の話を聞いてあげられない、情けない場面も見受けられました。
まぁ、どこの世界にも見受けられる光景ではあるのですが。
アマチュア無線を愛し、同じ会員であり、少しでも赤字を解消し、健全なＪＡＲＬを目指さないといけないのに、無用に足を引っ張るという非常に寂しく情けない限りです。
多種多様な意見や要望など活発に討論されましたが 17 時 30 分に閉会が宣告され、第 5 回定時社員総会は終了しました。

コンテスト参加報告

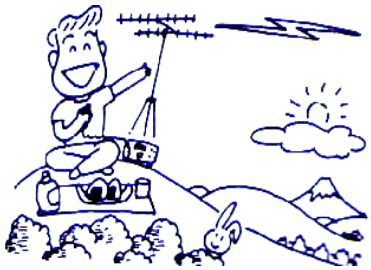
「ＪＡ５ＹＤＥ」がコンテストに参加しました。

オールＪＡ５コンテスト(7/16～17)

バンド	交信局数	マルチ
１．９ＭＨｚ	１１局	６
３．５ＭＨｚ	７４局	３２
７ＭＨｚ	６６局	３０
１４ＭＨｚ	２２局	１４
２１ＭＨｚ	１４局	６
２８ＭＨｚ	２局	２
４３０ＭＨｚ	１局	１
合　　計	１９０局	９１
得　　点	１７,２９０点	

（海外局やダブりなどの無効を含む総交信数は１９４局でした）

Op.JH5LYW



ＪＡＲＬ主催コンテスト

ＪＡＲＬ主催コンテストその他クラブ対抗部門があるコンテストに参加した時には、サマリーシートの登録クラブ対抗欄に

登録クラブ番　　号	３６-１-１
登録クラブ名　　称	ＪＡＲＬ香川クラブ

と記入するようにお願いします。

個人のアクティビティー向上とクラブの活性化のため、どしどしコンテストに参加しましょう。

今後のクラブ参加行事予定

１１月１３日　北四国ＡＲＤＦ競技大会(三谷町)
１１月２０日　高松市総合防災訓練（亀阜小学校）

「2016 年全日本 ARDF 競技大会開催案内」

・開催地　新潟県新発田市内
・開催日　平成 28 年 10 月 1 日(土) スプリント競技（エキシビジョン大会）
　　平成 28 年 10 月 2 日(日)144MHｚ帯競技(本大会)
・参加資格　健康な方なら参加資格の制限は無し
・競技の実施方法　JARLWｅｂ参照
・受付場所、時間帯　10 月 1 日スプリント競技　新発田市「紫雲寺祈念公園」
　　受付 12:00～12:30　開会式 12:45　表彰式 16:30
　　10 月 2 日 144MHｚ帯競技　新発田市「サン・ワークしばた」
　　受付 08:00～08:30　開会式 08:40　閉会式 15:00
・参加費　10 月 1 日競技　20 歳以上　JARL 会員 4,000-　非会員　8,000-
　　19 歳以下　JARL 会員 3,000-　非会員　6,000-
　　10 月 2 日競技　20 歳以上　JARL 会員 5,000-　非会員 10,000-
　　19 歳以下　JARL 会員 3,000-　非会員　6,000-
　　※両日とも参加の場合は合計から 1,000-（19 歳以下は 500-)を割引
・受付期間　平成 28 年 8 月 1 日(月)～平成 28 年 8 月 26 日(金)(消印有効)
・特別記念局「8N0ARDF」が会場で運用される。
◎以上が概要です。詳しくは JARLNEWS 夏号参照の上、どなたでも参加出来ますので大いに参加して下さい。

フィールドミーティングに参加して

JG5JXW

13：00 前にミーティング会場に到着、早速クラブ局のシャックをお借りして、湖沼アワード LA－03 の運用を開始しました。個人コールで 40 局程交信。1 時間半程交信した後、少し休憩して、JA5YDE で運用を開始。気を抜くと、つい自分のコールサインを打ってしまうので、丁度、目の前にクラブ旗の入った封筒に「JA5YDE」と書いてあり、それを見ながらコールを打っていました。しばらくすると、Ｊクラスタに掲載されパイルアップが続く・・・あぐらをかいたり、正座をしたり、からだのあちこちが痛みながらも呼ばれ続けるため、結局 70 局程度交信し、これを一時休止しやっとの事で焼肉の会場準備に合流できました。

予定時間より少し早く全員で記念撮影。いよいよ宴の始まりです。
今年は例年より参加人数が多く、肉が足りない感じで、また、ノンアルコールビールが良く出ました。私は今年は車の運転も無く、ビール党でしたので、丁度良かったのかも知れませんね。宴もお開きとなり、お泊り組は、UY さん、SAO さんと私の 3 人でした。シャックに移って、リグのスイッチを入れると、海外のコンテストがはじまっており、混信が酷くて 7MHz で 1 局、3.5MHｚで 1 局どまり。翌朝 5 時に起き、顔を洗って歯を磨いてシャツだけ着替えてマイコールで 7MHｚ運用を開始しましたが、やはり海外コンテストの混信が多く、空きチャンネルも無い状態。しばらくして、7.009.3 と、中途半端な所に空きをみつけて CQ　CQ・・・一緒に寝ていたお二人さんには、うるさくて寝られなかったかもしれません。ごめんなさい。直ぐにＪクラスタに掲載されたものの、混信がひどくなり 10 局ほど交信した後ＱＲＴ撤収しました。

外では、坂内さんが、梯子や照明器具、扇風機等を回収に来られていましたのでご挨拶し、CTESTWIN というソフトのデモをして、坂内さんともお別れとなりました。　今回 JA5YDE のシャックで交信するのも、シャックでのお泊りも始めての経験でした。お布団の準備や片付けも大変だったと思います。

会長さんとご家族の方に感謝しつつ、この紙面を借りてお礼を申し上げます。

［参加者］JA5UY／JA5CAU／JA5IJL／JA5TFJ／JA5TOP／JA5UVT／JE5PBO
JG5JXW／JG5OBX／JH5EZB／JH5LYW／JI5SAO／JI5XTP／JJ5CAE
JE5JRY（会員外・特別参加）

（15 名）

ﾌｨｰﾙﾄﾞﾐｰﾃｨﾝｸﾞの写真

歓迎の草文字アート

開始までのひととき

参加者で乾杯

再入会された平井さんも

移動運用お疲れ様です

宴もたけなわ

日本一周むせん旅（九州編）

JI5XTP

いつもは一人旅だが今回は助手席には友人が乗っている。神戸にいる友人が当局の九州移動を聞きつけ一緒に行きたいと言ってきた。一人よりは二人の方が運転も楽だし、話し相手も出来るので一緒に移動をすることにした。九州の道の駅は 132 駅あるので四回に分けての移動予定とした。

第一回目は友人も同行するので福岡県 16 駅を一週間で廻る予定を組んだ。地図資料は前回と同様ＪＡＦドライブＭＡＰを参考にした。

2016 年 1 月 11 日、早朝 6:00 に自宅を出発し関門トンネルをくぐって九州に入り門司で高速を降り一般道経由で 15:00 に道の駅「むなかた」に着いた。到着早々駅長に挨拶をして無線運用の許可を得る。許可が下りればアンテナの設営だ。設営と言っても垂直アンテナなので取付けするのに 5 分もかからない。友人は道の駅を散策すると言って車外に出た。当局は車内のシャックに座りアンテナの SWR を確認し、「VVV QRL ? DE JI5XTP/6」を打鍵し他局からの返事が無ければ「CQ CQ DE JI5XTP/6 JCC4026/RS10 K」と送信をする。この瞬間が一番緊張し、一番胸も高鳴る。１駅での運用時間は約１時間で声がかからなくなると QRT し、次の道の駅に移動をする。今日は道の駅「くるめ」で車中泊をする。夜は寒いので移動途中にコンビニで購入した鍋焼きうどんで夕食をとる。私は早めに夕食を済ませ 3.5MHz で交信の準備をする。友人は晩酌用にと買った天ぷらをアテに缶ビールとカップ酒をチビチビ飲んでいる。交信が終わる頃には友人のカップ酒も空になっていた。車内を片付け各自の寝袋を敷く。ＸＹＬとの車中泊時はあまり狭さを感じなかったが、男二人だと窮屈だ。横になり少し時間が過ぎた時、隣から「ごおぅ～ごおぅ」と凄いイビキだ。あまりの大きさにたまらず私は頭の向きを反対にしたが寝られなかった。次の日の夜は耳栓代わりにイヤホーンをしたが前夜と同じで寝られなかった。次の日、友人は道の駅散策に飽きたのか車の周りをウロウロしている。そんな光景を見ると無線交信をしていても気になって運用を早めに切り上げる。10 駅目の移動が終わった時、このまま移動運用していてもお互いに気まずくなると思い、相談の上、残りの日程を変更して観光をすることにした。そして阿蘇山、湯布院、別府の温泉地を巡った。色々あったが一回目の移動運用は終了した。友人は次回も同行したがったが丁重にお断りした。

第二回目の移動は前回行けなかった福岡に加えて大分・宮崎・熊本県を追加し 33 駅の移動予定とした。2016 年 3 月 6 日、5:00 に自宅を出発し愛媛県八幡浜から大分県臼杵に渡るルートとした。今回は一人旅なので順調に予定をこなしていった。6 日目の道の駅「豊前のこしかけ」に着き駅長に挨拶に行った時、駅長から「以前、アマチュア無線局が運用をしていた時、運用者の音声が有線放送に入り困り、それ以後アマチュア無線の運用をお断りしています」と断られた。運用していたアマチュア局も駅長さんに挨拶をして、送信前のチエックを怠らなければこんな問題は起きなかっただろうと悔やんだ。私も他人のことだと思わず送信前のＳＷＲ等のチエックを念入りにするように成った。また、後々移動運用をしてくるアマチュア無線家に迷惑をかけないように、開局前の挨拶と閉局後の挨拶を必ずした。

霧島市

第三回目の移動は宮崎・鹿児島・熊本県そして屋久島移動を含む 15 日間の長丁場の予定を立てた。この移動の１ヵ月前にＸＹＬと鹿児島県「指宿」、熊本県「人吉・熊本城」、宮崎県「高千穂」を廻っていたので今回の移動ルートは逆ルートだ。道の駅「高千穂」の近辺に友人の ARDFer 女史が居る。前回ＸＹＬと旅行した時、高千穂のいろんな場所を案内してくれた。そのお礼をしようと思ったが夜遅く着き、朝早く出発するのでかえって迷惑になると思い連絡を取らなかった。4 月 14 日の夜、道の駅「霧島」で寝ていると携帯電話の地震警報で目が覚め身構えていると車が揺れはじめたが揺れはすぐ収まった。翌朝、隣に駐車していたキャンピングカーの住人から熊本が震源で M6.5 だったと聴かされたが、昨夜の地震が大した揺れで無かったので次の移動地へと出発した。4 月 15 日、道の駅「フェニックス」で車中泊をした深夜にまた地震警報が鳴った。今度も身構えたが揺れなかった。翌 4 月 16 日 5:00 頃に無線運用をしているとＸＹＬから「なにしょん、熊本城や大分県の湯布院は大変な事になっとるでぇ」と緊迫した声で電話があった。また、当局の移動を知っているフレンドからも安否確認の電話やメールがあった。移動中はテレビを見たりラジオを聴いたりしないから、その日の出来事も知らず、今日が何曜日か判らないこともある。これ以上移動していてはＸＹＬに心配をかけるだけと思いすぐ帰路についた。

フェニックス

第四回目の移動は震災も落ち着いてからの移動で 5 月 9 日から宮崎県、鹿児島県、熊本県の 40 駅を予定した。また、一度行ってみたかった屋久島もルートに組み込んだ。

移動中の 1 日のスケジュールは朝 5:00 に起床、道の駅のトイレで顔を洗う。車から発電機を取り出し始動する。そしてポータブル電源から発電機の電源に切り替える。次に車のキャリアから脚立を下ろしアンテナを基台に取り付ける。無線機廻りの準備が出来ると車からカセットコンロを取り出し、ヤカンでお湯を沸かす。お湯が沸いたらインスタントコーヒーを入れ、前の日買っておいたパンで朝食をとる。朝食後 6:00 頃から 7MHz で運用開始。前日に道の駅のスタンプを押印していれば 7:30 頃に QRT し設備を収納してから次の移動地に向かい 1 日 3 駅から 5 駅を移動する。15:00 時以後の移動時には、近辺に入浴施設がないか

周りをきょろきょろしながら移動する。入浴施設が見つかればその施設を利用する。入浴料金は 350 円から 750 円が相場のようだ。夕方近くになると車中泊をする道の駅を決め、道の駅に到着すると駅長を訪ね移動運用の許可を得る。許可を得るとその足で QSL カード 170 枚に押印をする。それが終わると売店の惣菜コーナに行き今夜の食料を調達する。弁当類は夕方になると半額になっているので重宝する。食料を確保すると車の駐車場所を探す。第２駐車場があればそちらに移動し端に駐車をする。駐車をすると運用の準備をする。発電機は邪魔にならないように車の後ろに置き、アンテナを設営する。19:00位までは7MHzの垂直アンテナ､19:00以降は 3.5MHz の垂直アンテナを設置する。時間的に余裕があれば 10mh のグラスファイバーポールに 10.5m ワイヤーを取付、アンテナチューナで 3.5MHz から 28MHz まで QSY がすぐ出来るような運用をする。当局はこのスタイルが好きだがポールがあまりにも長く車のキャリア部からだと 12mh くらいになり､遠く目から見ても相当な威圧感があり近隣の車からは不安な目で見られる。

夜の運用は遅くても 21:00 には切り上げログの整理をしてから 22:00 には就寝する。また熊本県矢代郡氷川町の道の駅「竜北」で交信中 19:28 頃、当局より電波の強い局が出没し当局になりすましＲＳＴレポートを送りはじめた。当局はＮＧを送信し間違いである事を伝えたかったが、相手の信号が強く他局には判ってもらえなかった。仕方なくＪクラスターに現在送信しているのは当局では無いと書き込み 3.5MHz にＱＳＹした。前回も同じ目に遭ったが、すぐに退散をしてくれ大事には成らなかったが今回のなりすまし局にはお手上げだった。

上益城郡山都町の道の駅「そよ風パーク」や阿蘇郡南阿蘇村の道の駅「あそ望の郷くぎの」に立ち寄った時は駐車場に県外からの災害応援ボランティアの車やテントが張られていた。被災が少ない場所でボランティアを受け入れ、ここから被災地に送り込んでいるようだ。

風評被害も出ている。震災前は農家さんが納入した商品は夕方になればほとんど商

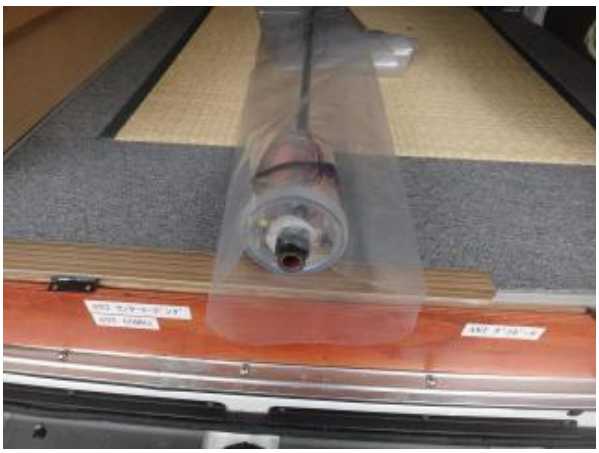
また､ここの道の駅で車中泊をした時就寝前には 90 台の駐車スペースに 10 台位が駐車していたが朝起きると駐車スペースが満車になっていた｡駐車しているほとんどの車は熊本ナンバーで理由を聞くと余震が怖いので夜は道の駅で寝泊まりをしていると言う｡そう思えば移動中車窓から見た民家の屋根の多くにはブルーシートが被されていた。

あそ望の郷くぎの

品が残ってなかったが、震災後はこの地域では被害がほとんど無いにもかかわらず、テレビ等の報道により、この地域にも被害があると思い来客がほとんど来ず、近隣の農家が納める野菜などは16時になればほとんどの商品を引き揚げなければならず収入が少なくなったそうだ。

阿蘇山の西側の道の駅にも移動したかったが、寸断されている道路が多いとのことで道の駅「あそ望の郷くぎの」で終了した。

第五回目の移動は6月12日から佐賀県、長崎県、熊本県の27駅の予定にした。これが終われば奄美大島と沖縄を除き九州の道の駅移動運用が完了する。移動前の準備として、アンテナのメンテナンス、アンテナの雨対策、運用時の虫対策（主に蚊）を施すことにした。アンテナのメンテナンスは車のキャリア部に取り付けているアンテナ基台のねじ部が甘くなっているので取り替えた。(一回の移動でアンテナの取り付け、取り外しを100回位している）基台を取替えて7MHzと3.5MHzの垂直アンテナを取り付けてSWRを測定すると共振するところが無くなっていた。そこでアンテナの先端に20㎝ワイヤーを取り付けカット＆トライで共振点を見つける。12㎝切ったところで共振点が見つかった。



アンテナの雨対策には直径250φのナイロンダクトを使うことにした。ナイロンダクトは主にもみすり機の籾殻を排出するために使うもので、これをアンテナにすっぽりと被せればアンテナが雨に濡れない。虫対策には窓の開閉部が運転席と助手席しか無いので、運転席と助手席の窓枠にマグネットテープで網戸の網を固定する方法をとったがマグネットテープをくっつけるドアーの金属の露出部が狭く、磁石で貼り付けても網の自重ですぐ外れる。次に考えたのが窓枠と網戸の網にマジックテープを貼り付けてマジックテープ同士をくっつける。網戸の網も窓枠に会わせて切ったので綺麗に取り付いた。ただ、網を外して窓枠に腕を乗せるとマジックテープのトゲトゲが肘に当たり痛いので肘の当たる部分だけに幅広のトゲトゲの無いマジックテープを貼り付けた。

暑さ対策には250φ、15WのDC扇風機を購入した。昨年買った扇風機は同じDC電源でも運転音が大きくて運用中のモールス音が聞きづらく困っていたので今回の扇風機は低騒音でＦＢだった。すべてが整ったので予定通り6月12日に出発した。瀬戸大橋経由で移動中、宮嶋SA辺りから雨が降り出し、佐賀県の道の駅「吉野ヶ里」についた時は大雨になっていた。雨の様子を見ながら待機をし、小降りになった時にアンテナを取付ナイロンダクトを被せた。交信途中、SWRが高くなったのでアンテナを見上げるとナイロンダクトが雨に濡れその自重でアンテナがおじきをしていた。すぐナイロンダクトをとり除き空振コイル部分にスーパーのレジ袋を被せた。虫対策の網戸は雨等で取り付ける日が無かった。

移動して 24 駅目の熊本県山鹿市の道の駅「水辺プラザかもと」で交信しているとアンテナや運用している私の姿をカメラに納めている人がいた。運用をやめドアーを開けると、名刺とＱＳＬカードを渡された。なんと一つ前の道の駅で交信をした JE6HCL 佐治 OM がアイボールに来てくれたのだ。あまり長話は出来無かったが次の道の駅「きくすい」で車中泊をする旨を伝えた。しかし大雨で再会することは出来なかった。一つ残念なのは一緒に写真を撮るのを忘れてしまった事だ。

九州最後の運用地は第二回目の移動時に運用を断られた道の駅「豊前おこしかけ」だ。営業外なら運用できるだろうと思い、閉館の 19:00 までにはまだ時間があるので近所の人に教えて貰った温泉で湯に入り、コインランドリーで洗濯を済まし、道の駅に 16:00 時頃に到着した。断られたら駄目もとと思って事務所を訪ねた。女性の方が応対をしてくれたが前回と同様「ダメ」と言われた。そこで九州全域の道の駅マップを見せ、塗りつぶせてないのはこの道の駅だけだと哀願すると「特別ですよ」と言って従業員用の駐車場での運用を許可してくれた。ただし何かあれば連絡するからと連絡方法を聴いてきたので携帯番号を教えた。ここの閉館が 19:00 なので先にスタンプを 170 枚押印した。また早めに運用が出来たので 19:00 迄には 150 局との交信が出来た。翌朝は運用せず 5:00 に出発して大分県の臼杵フェリー乗り場に 7:00 に到着し、7:40 発の八幡浜行きのフェリーに乗船することができた。今回の移動で九州の道の駅 132 駅中 123 駅をクリアーすることが出来た。

移動日数 39 日、走行距離数 6,627km、交信局数 8,246 局で九州移動を完了した。

番外編「屋久島」

運用場所

縄文杉

登山道

トロッコ道

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ　出来ればWordで作成しﾒｰﾙ、電子ﾒｰﾙが無い場合はfaxか郵送。
送　付　先：E-mail
　　Fax
郵　送　先：〒761-

★★★　新入会員募集中　★★★

ＪＡＲＬ香川クラブでは新会員を募集しています。
今年はクラブ結成６７年(1948 年 10 月結成)になります。
そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

＊お知らせ

ＪＡＲＬ香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成２８年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

ＪＡＲＬ香川クラブ報

発行責任者	ＪＨ５ＬＹＷ	三好　伸幸
編集者	ＪＡ５ＴＦＪ	横田　寿夫
	ＪＡ５ＴＯＰ	平賀　正明
	ＪＩ５ＶＵＺ	市原　義博
	ＪＧ５ＪＸＷ	坂井　進史